

アイザワ証券芦屋支店のご紹介

会社概要

| ■ 概要 | | (注)店舗/従業員はグループ合算 |
|---------|--|------------------|
| 商号 | アイザワ証券株式会社 | |
| 代表者 | 代表取締役社長 藍澤 卓弥 | |
| 本店 | 東京都港区東新橋 1-9-1 東京汐留ビルディング | |
| 創業年月日 | 創業104年 1918(大正7)年7月7日 | |
| 資本金 | 30億円 | |
| 国内店舗数 | 48店舗 | |
| 従業員数 | 841名 (2022年3月末日現在) | |
| 預り資産 | 14,289億円 (2022年3月末日現在) | |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所/プライム市場 (※グループ) | |
| 経営理念 | より多くの人に証券投資を通じより豊かな生活を提供する | |
| 目指すビジョン | Hope Courier(希望の宅配人)となる 「豊かな生活=将来への希望」を具体的な形とし、お客様に希望を届ける | |
| ミッション | 資産形成を通じて、中間層(資産形成層)の方々を生活の不安から解放し、希望にあふれるこの国の未来を彼らが創造するための後押しをする | |



アイザワ証券の取り組み

当支店は地域密着型の対面証券として、
①教育機関②金融機関③市民団体
と提携を組み、証券会社の垣根を超えた活動を行っております。

その功績を認められ、証券会社初の
大臣表賞をいただくことができました。

アイザワ証券
まち・ひと・しごとを創る
アイザワ証券の取り組み
Cross-Border Solution
(クロスボーダーソリューション)

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部
【地方創生に資する金融機関等の取組及び取組事例】

大臣表彰 2017 2020 2021

★証券会社では唯一受賞!!
★2021年三年連続、三度目の受賞の快挙!!

2017年大臣表彰受賞 2020年大臣表彰受賞 2021年大臣表彰受賞

教育機関 × アイザワ証券 金融機関 × アイザワ証券 市民団体 × アイザワ証券

【オンラインサービスによる個人向け付与】 【地域金融機関との連携による個人向け付与】 【高齢者に対する個人向け付与】

Cross-Border Solution(クロスボーダーソリューション)の詳細は裏面をご覧ください。

芦屋支店 × 地域社会

地域密着の証券会社を目指して...

アイザワ証券 ×



当社は芦屋市と**地域連携協定**を結んでいます。

協定締結の様子



左から吉谷藍澤証券株式会社支店長・山中市町 ※芦屋市HPより引用

活動の概要

①教育機関との連携

西宮市、芦屋市、神戸市との連携
公立中学校での金融教育授業実施、職業体験として生徒受け入れ
証券会社として唯一メルカリ教室の開催
金融リテラシー向上、高齢者支援の活動

②金融機関との連携

第一生命保険株式会社芦屋営業オフィスとの連携
より多くのお客様のニーズに応えるためそれぞれの得意分野に関するセミナーを定期的実施

③市民団体との連携

芦屋市の市民団体ポイエシスとの連携
公園や自治体の集会所等でのマルシェ参加、芦屋オープンガーデンへの参加
地域活性化のための活動

活動写真

・芦屋市の学校での金融授業実施(教育機関連携)



参加無料

みんなのメルカリ教室

会場 アイザワ証券 芦屋支店
期日 2021/11/19(金)、11/26(金)、12/6(金)、12/22(金)
日時 2022/1/12(水) 15:00~17:00
※日1回開催 15:00~17:00

この予約はこちらからご参加お待ちしております

お問い合わせ 03-6706-4843

・メルカリ教室も証券会社で唯一開催中(月二回程度)

・第一生命芦屋営業オフィスにてセミナー実施(金融機関連携)



・NISA、iDeCoについて説明

・ポイエシス主催のマルシェへの参加(市民団体連携)



・いとうまい芦屋市長にもお金のクイズにご参加いただきました

活動のきっかけ

1. 当社の問題認識

政府の大命題「貯蓄から資産形成(投資)へ」が進まぬ事由

- ①:「お客様のために・・・」
⇒お客様の抱える課題・悩みの解決
- ②:「地域から必要とされる証券会社」へ
⇒証券会社のレピュテーション向上
- ③:金融・証券リテラシーの向上
⇒証券会社としての使命

- ・低経済成長
- ・低金利
- ・年金問題
- ・認知症問題 etc.



2. 当社の処方箋

- (1)垣根を超えて地域金融機関や教育機関との提携/連携を軸(レピュテーション高)に、
- (2)先方が提供出来ない、業務範囲や県境、交流範囲を超えたサービス
「クロスボーダーソリューション」(特許庁商標登録第5978805号)をご提供し、
提携/連携先との相互補完を実現しながらお客様、地域社会に貢献していく

「クロスボーダーソリューション」(ロゴ付)を商標登録(特許庁)
(特許庁商標登録第5978805号)



これらの活動の根底には、

「余裕ができれば、地域創生支援を行うというのはしっくりこない。地域創生への取り組みは営業させて戴いていることへのいわば配当だ。配当できない利益水準であるならその営業自体に価値がない、というふうに考えている。」

という前社長の言葉があります。



活動の成果

- ・当初は芦屋市内の中学校のみの金融教育活動であったが、回数を重ねていくことで西宮市の中学校からも依頼を受け、2022年は計6校から中学生を受け入れることに。神戸市の中学校からも声をかけていただいており、今年から神戸市の中学生も受け入れ予定。
- ・当社の知名度はまだまだ低い。しかしポイエシスマルシェや芦屋オープンガーデン、メルカリ教室の実施等により、以前よりも確実に**知名度は向上**。
- ・芦屋市長にも当社の取り組みについて認知、激励いただき、市を巻き込んだ活動になりつつある。
- ・第一生命芦屋営業オフィスとの連携で、保険と証券についての知識共有、より多くのお客様のニーズに応えることが可能に。